

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「夢 (gift) を明日へ
つなげよう」

高田ロータリー今年の
スローガン

「ロータリーは親睦と
奉仕の融合」



世界へのプレゼントになろう

2015～2016年度

国際ロータリー会長 K.R.ラビンドラン

2560地区ガバナー 山本 和則

高田ロータリー会長 水上 喜芳

幹事 大島 誠

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号

TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534

メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp

例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員

田中 正人 小熊 貞良 栗田 修行

笠谷 吉春 小林 豊茂 霜村 浩

第38回例会 ■ 4月8日(金)

No.37

会長挨拶 ● 水上 喜芳



皆さんこんにちは。

今月のロータリー特別月間は『母子の健康月間』となっています。

みなさん、この『母子の健康』と言う言葉に対しどのようなイメージを連想されますか？そうですね『母子手帳』ですね。

この母子手帳ですが、日本のアイデアで最初に作られたのが1948年、今や世界30カ国800万冊～一千万冊が印刷され各国で活用されていると言われています。

この母子手帳のおかげで過去25年の間に、世界で妊産婦と乳幼児の死亡率は、約2分の1に激減したと言われています。

その日本の母子手帳のアイデアが最初に活かされたのが、1995年ラオスでの日本の青年海外協力隊でした。

それまで、ラオスでは、家庭における母子の健康記録として、いろんな種類のカードが配布されていました。ところが、妊娠中のケアの注意や離乳食の作り方といった実用的な情報は、それらのカードには含まれていなかったのです。

日本の青年海外協力隊員が作ったラオス語で書かれた母子手帳は、ラオス政府の母子保健関係者の注目を集めました。

そして、2004年に日本のロータリークラブの支援を受け、2万冊の母子手帳が印刷され、配布が始まりました。

それ以降、世界各国で『母子手帳』の印刷配布が始まり母子の健康と安全に大きく貢献しまし

た。

本日の卓話は会員卓話で羽深耕時さんよりお話を頂きます。

出席報告

出席率 98.08%

メイクアップ

水上喜芳君 (4/9 米山カウンセラー研修会)
石倉 悟君・高坂光一君 (4/9 高田 RAC 春イベント)

セレモニー

入会式



野津省吾君 (ホテル ラングウッド上越 総支配人)

委員会報告

出席・ニコニコBOX委員会

田中正人君——昨日、爺さんになりました。元気な男の子です。素直にうれしいです。ありがとうございました。

会員インフォメーション



助川 毅君——退会・転勤のご挨拶

幹事報告

配布物：週報No.36

会員卓話

第2560地区ロータリー地域協働ネットワークセンターについて



第2560地区ロータリー地域協働ネットワークセンター 副センター長 羽深 耕時 君

4年前、地域協働ネットワークセンターは、中越地震発災時に甚大な被害を受けた「山古志地区」、長岡市の鈴木パストガバナーを中心に設立されました。

その活動としては、平常時では、いざという時の「常在戦場」の心構えとしてのセミナー開催、そのための情報提供、又、人権保護の観点からは、小林副センター長担当の「命の電話」活動と私が担当しています「犯罪被害者支援センター」活動があります。

「命の電話」活動では、24時間の電話相談から自殺者は減少していますし、「犯罪被害者支援センター」活動では、新たに長岡・上越にも相談窓口が開設され、相談件数も増加、更に女性被害対応から産婦人科医との連携、協力体制も出来ており、確実のその成果が認められています。

災害時においては、必要に応じて対策本部を設

置し、物資調達、輸送、医療救護、教育支援、募金活動を行います。

そのためにクラブ単位でのアンケートからの支援物資リストを作成するなど、人的、経済的支援が迅速に対応できる支援体制が確立しております。地域の災害支援目的の他団体と情報を共有し、信頼関係を基に非常時でも、被災地ニーズに合致した通常活動ができる支援のネットワーク化が構築されています。

この地域協働ネットワークセンターの活動は、ロータリアン間の強固な「絆」、他団体との協力、危機意識の啓発等の諸活動の実践を通じて、地域社会でのロータリークラブへの認識を高め「地域と協働するロータリー」を具現化する活動であります。

引き続き、地域協働ネットワークセンターについてご理解とご協力をお願い致します。

第39回例会 ■ 4月15日(金)

会長挨拶 ● 水上 喜芳



皆さんこんばんは。

今日は、高田ロータリークラブ恒例の観桜会であり、また家族例会となっています。

今年の桜は暖冬もあり、例年より一週間ほど早く開花し、あっという間に満開になりました。

例年であれば、今日あたりが満開となるのですが、すっかり葉桜になってしまいました。また今年は高田公園の桜を見に海外からの観光客も目立つようになりました。

桜の木の下で宴会を開く、あるいは桜の花の数え方が蕾のとき、咲き始めのとき、散り際によって違うなど、日本人の桜に対する思い入れの深さ

と繊細さに驚きを示している様です。

今日は高田公園の満開の桜を思い、そして愛で大いに楽しんで頂きたいと思います。

出席報告

出席率 100%

メイクアップ

水上喜芳君・大島 誠君（4/13 上越プロバス
クラブ定時総会・4/16 三条北 RC 創立 30 周年）

委員会報告

出席・ニコニコ BOX 委員会

藤林陽三君——誕生日と例会が重なりました。

大島 誠君——4月11日サクスレルヒの森
は100人満床となりました。

観桜会

